まなべ「熱中時代」

元気と夢を育む真鍋小学校

学校だより　令和４年度９月１２日
土浦市立真鍋小学校（小中一貫校）

文責　酒井　宏之

2学期を成長の学期に！

９月も半ばとなり，少し暑さが和らいできました。

２学期が始まりました。2学期は子供たちが楽しみにしている修学旅行や宿泊学習，遠足等が予定されています。また，勉強や運動にじっくり取り組む学期です。そして子供たちが1番成長する学期です。子供たちにとって，机上での学習も大切ですが，体験による学習は，より大きく成長させるものだと思っています。教職員一同，子供たちの健康，そして安全を最優先に考え，学校運営に取り組んで参ります。これからもご協力お願いいたします。

9月9日(金)は　「まなべ防災の日」

真鍋小学校では，9月9日(金)を今年の「まなべ防災の日」としました。今年は，シェイクアウト訓練，2･4･6年生で防災教室等が行われました。土浦女性消防団，県防災士会，土浦消防署，市役所危機管理課の方々を外部講師(GT)としてお迎えし，様々な体験を通して防災について勉強しました。災害は，いつ，どんな形で起こるかわかりません。「自分の身は自分で守る」という心構えを持つことが大切です。これを機会に防災について考えてみたいものです。

「登校時」　シェイクアウト訓練

登校時，シェイクアウト訓練が実施されました。これは，大きな地震等を想定した，地域との連携による避難訓練です。登下校中に地震等が発生した場合，自分たちで考えて行動しなければなりません。今回も地震が発生したことを想定し，登校班でまとまって，体を低姿勢にし，ランドセル等で頭をおおい，身を守る，というものでした。各地区ごとに校外指導や育成会の方々の指揮の下で行われました。東日本大震災は小中学生の下校時に発生しました。災害時には子供たちだけで行動することも考えられます。今日の訓練を忘れないでほしいと思います。

2年生

２年生は，2校時に土浦女性消防団の方々をGTとしてお迎えし実施されました。

クイズやスライドによる学習を通して，楽しく学習することができました。

4年生

４年生は，3･4校時に茨城県防災士会の方々をGTとしてお迎えし実施されました。

前半はお話を聞き，後半は防災グッズとして新聞紙でスリッパを作りました。

6年生

６年生は，3･4校時に土浦消防署の方々をGTとしてお迎えし，消火体験や煙体験をしました。実際に水消火器を使ったり，煙ハウスの中に入ったりしました。子供たちは積極的に訓練に取り組み，活き活きと活動する姿が見られました。

５校時は，市役所の危機管理課の方をGTとしてお迎えし，土浦市の災害の歴史やハザードマップ，避難等について学習しました。

６年生は3時間に渡って防災教室を行い，災害について考える1日となりました。

校長室より

教室を訪問し，掲示してある夏休みの作品や作文等を見ていると，充実した夏休みの様子が伝わってきます。社会では，新型コロナが急速に広がってきたため，町内によってはラジオ体操やまつり等の行事が中止となり，ちょっと残念なこともありました。来年の夏はコロナが収束して，またみんなでまつりができる夏休みが来るといいな，と思っています。

さて，毎年9月1日は「防災の日」です。この日は関東大震災にちなんで定められたようです。

私が大地震で思い出すのは，やはり東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）です。今から約１１年前，２０１１年３月１１日（金）１４時４６分に発生しました。私は当時，市内の小学校に勤務しており，ちょうど下校直前の時間でした。これまでに経験したことのないものすごいゆれだったため，「校舎が崩れる」と本気で思いました。恐怖のあまり，泣き出す子供たちもいました。幸い校舎は崩れず，子供たちは全員無事でした。当時，我が子は真鍋小に通っていました。無事であることが確認できた時，ホッとしたと同時に我が子を無事に守ってくれた当時の真鍋小の先生方に感謝したことを思い出します。

真鍋小では毎年９月に「まなべ防災の日」を設定し，地域の方々の協力を得て，防災について学習しています。これは他の学校にはあまり見られない大切な行事だと思います。これからもこの日を防災について学習し，命の大切さを考えるよい機会としていければと思います。